

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
1	委員	重点プラン全般	成果指標について、あくまで計画年限時の目標と捉え、「成果指標」を「目標値」に修正されたい。また、「基準値」については何を表しているのか不明確であるため、「現状値」に修正されたい。	ご意見を踏まえ修正	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
2	委員	重点プラン全般	現状値、目標値の設定の考え方や背景が不明確である。 例:交流人口は具体的に何を対象にカウントするのか。	それぞれの成果指標について、バックデータは用意する。ただし、それをどこまで表に出すかには検討が必要。実務的に進捗管理の点から、指標の数値は継続的に把握可能なものである必要がある。	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
3	委員	重点プラン1 2ページ	活力を生み出すための拠点整備として、役場周辺、インター周辺、砂利採取場が挙げられているが、これらの整備による企業誘致や 増収増加などが直接的に効果や実現目標に繋がっておらず、交流人口の増加を目標としているのには違和感を感じる。	重点プランに位置付けた個別の施策の目標を重点プランの実現目標としては設定していない。さまざまな施策による複合的な効果により、実現目標を設定している。 拠点整備のように計画年限である5年で達成できるものばかりではなく、それ自体を実現目標とすることは困難と考える。	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
4	委員	重点プラン1 2ページ	成果指標にある交流人口として、子育て支援センター利用者数や、公民館利用者数、地域のおまつり来場者数などを加えてはどうか。また、シティプロモーションではメディアに取り上げられた回数などを指標としても良いのではないか。	No21記載のとおり、成果指標の設定については極力、後年度の進捗管理の点から、現状値を確実に把握しているものを対象としたい。	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
5	委員	重点プラン3 4ページ	要介護認定率や自治会加入率のように目標値が現状値を下回ってしまうようなものを指標とするのは不適切ではないか。	いずれの指標も、確実に今後現状値を下回っていくことが見込まれるが、それをいかに緩やかなものにしていくかという観点で指標とした。現実的に達成不可能な指標とするわけにもいかない。 (要介護認定率は新規の要介護認定者の平均年齢に置換)	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
6	委員	重点プラン3 4ページ	(No24に引続き)指標の考え方について、事務局側からの説明があれば、理解はできるが、これだけ見ても町民の方は同じような疑問を抱くのではないか。	成果指標の設定の考え方については、どこまで出すかを検討する。	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
7	委員	重点プラン3 4ページ	自治会加入率について、ここ数年の推移を見て現状値を維持していくのが難しいことは理解するが、あくまで目標とするならば若干なりとも増加させていく必要があるのではないか。	人口ビジョンでは、計画年限である平成32年度の目標人口を9,700人としていることから、同程度の人口であった平成27年度と同水準の加入率に上方修正したい。 「80%」⇒「82%」	H28.6.29 第7回総合計画 審議会

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
8	委員	重点プラン3 4ページ	自治会加入率を指標としている理由は、恐らく地域の協力体制や福祉の担い手として自治会を重視しているからだと思うが、現実的に災害時に自治会未加入だから助けないということではできないし、行政が強制力を持って自治会加入を促進できるものではない。あくまでお願いベースなのが前提であることや、そもそもの自治会のあり方や意義を考えると、指標として適切か疑問が残る。	自治会の本質的なあり方についてのご意見は理解するが、中井町の地域特性でもある自治会加入率の高さは、地域の参加・協働を考える上で将来的にも維持・向上を図っていくべきものとするため、指標としては採用したい。	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
9	委員	重点プラン2 3ページ	重点プラン2の実現目標を「若い世代の定住促進」としているが、若い世代も確かに重要だが、限定する必要はないのではないか。例えばリタイアした方なども定住の対象としてよいのではないか。	ご意見を踏まえ「特に若い世代の定住促進」に表現をあらためる。	H28.6.29 第7回総合計画 審議会
10	議員	重点プラン2 3ページ	重点プラン2(3P)の公共交通に関する満足度について現状18.8%、目標25.0%となっているが、100%を目標値にしなければおかしいのではないか。	5年間という計画期間の中で推進する施策の効果として目標値を設定していることから、あまりに実態と乖離した目標設定をすることで、計画自体の実効性の担保が困難となるため、本項目の目標値についてはパブリックコメント等のご意見も踏まえ「35.0%」に修正したい。	H28.7.19 議会全員協議会
11	議員	重点プラン3 4ページ	重点プラン3(4P)の自治会加入率についても100%を目標値にすべきではないか。	本項目については、人口減少や単身世帯の増加に伴い減少傾向にある自治会加入率を現実的には現状を維持すること非常に厳しい状況にある。しかしながら、本町における地域社会の基礎として自治会の存在は大変重要なものであることから、人口ビジョンに定めた平成32年度の人口推計(9,700人)と同程度の人口規模である平成27年度の自治会加入率を目標値として設定した。目標値の設定の考え方は項番10と同様であるため、目標値は「82.0%」のままとしたい。	H28.7.19 議会全員協議会
12	議員	重点プラン2 3ページ	重点プラン2(3P)の公共交通に関する満足度について(目標値の設定を他計画から抜粋しているとのことだが、目標設定時点がデマンドバスの実証運行前であるため)現状の満足度はもう少し上がっている可能性もある。そのあたりも加味して目標設定するべきではないか。	項番10のとおり、「35.0%」に目標値を上方修正したい。	H28.7.19 議会全員協議会
13	議員	重点プラン2 3ページ	オンデマンドバスが来年契約更新になる中で、新たな交通体系を考えていく必要があるのならば、目標値25.0%は設定が低いのではないか。	項番10のとおり、「35.0%」に目標値を上方修正したい。	H28.7.19 議会全員協議会

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
14	議員	重点プラン1 2ページ	町民が納得できる事業計画を行っているのに「中井町を推奨している町民」の目標値60.0%は設定が低すぎるのではないか。	本項目の目標値設定については、「総合戦略」から抜粋している。 目標設定の考え方は、シティプロモーションの展開の効果として、中井町を自分以外の他者にお勧めしたいと感じる人の割合を増やすというものであり、個人の主観によることも大きく、目標値の設定にあたっては、戦略みらい会議において有識者の意見も踏まえ設定していることから「60.0%」としたい。	H28.7.19 議会全員協議会
15	議員	重点プラン3 4ページ	「土曜学習参加率」について、定員に対する参加率を目標値として設定しているが、計画の途中段階で定員が変われば分母が変わるので数値も変わる。目標値とすることが適当か。	本項目の目標値設定については「生涯学習基本計画」から抜粋している。 町としては、今後も子どもたちの学習機会や多様な体験機会の充実を図るため、土曜学習事業を推進していく予定です。 ご意見のとおり、分母である定員が変われば目標値もそれに応じて影響はあるものと理解しますが、目標値の達成を目的として恣意的に定員を変更することはありませんので、目標値として採用したい。	H28.7.19 議会全員協議会